

令和2年10～12月食品の放射性物質検査計画(新潟県)

区分	品目	産地 (製造地)	詳細	検体数
農産物	野菜類・果実類、きのこ類	新潟県	新潟県で生産され、県内流通している野菜類・果実類(注①)及びきのこ類(注②)	2週に1検体
			新潟県で生産された「原木しいたけ」「原木なめこ」を出荷前又は出荷初期に検査	品目ごとに月1検体
			新潟県で採取された野生きのこ類(注③)	産地市町村ごとに3又は1検体
		県外	対象地域(注④)で生産され、県内流通している野菜類・果実類(注①)及びきのこ類(注②)	4週に3検体
畜産物	肉	新潟県	新潟県内で飼育・食肉処理された「牛肉(黒毛和種)」	出荷農場毎に年1検体
水産物	魚介類	新潟県	新潟県で水揚げされ、県内流通している「魚介類」	4週に5検体
		県外	対象地域(注④)で水揚げされ、県内流通している「魚介類」	
野生鳥獣	野生鳥獣肉	新潟県	新潟県で捕獲された野生鳥獣肉(注⑤)	市町村ごとに1検体以上

注①) 野菜類・果実類

季節に応じた葉茎菜、果花菜、根菜、芋類、果実等から次の品目を優先。

- ・ 過去に国内で50Bq/kg超のセシウムが検出された品目（ブロッコリー、くり等）
- ・ 土壌中の放射性セシウムの農作物への移行係数が高い品目（きゅうり、レタス等）
- ・ カリウム含有量が多い品目（ほうれんそう、こまつな等）

注②) きのこと類

過去に国内で100Bq/kg超のセシウムが検出された品目（しいたけ、なめこ等）及び過去にセシウムが検出された品目をはじめとする幅広い品目を対象とする。

注③) 野生きのこ類

令和元年度に県内で50Bq/kg超のセシウムが検出された市町村で3検体、他の市町村で1検体。

注④) 対象地域

青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県

注⑤) 野生鳥獣肉

平成30年度に国内で50Bq/kg超のセシウムが検出された品目（ツキノワグマ※、イノシシ、ニホンジカ、ヤマドリ、カルガモ）

※ 県内（佐渡市及び粟島浦村を除く。）で捕獲されたクマ肉は、現在、出荷制限されており、市場流通していません。

農畜水産物等の放射性物質検査計画の概要（新潟県）

1 期間 第3四半期（令和2年10～12月）

2 検査計画概要

分類	品目数	検査頻度	総検体数	検体採取 市町村数 (予定も含む)
出荷前もしくは出荷時（出荷初期）に検査を行う食品				
きのこ類	2	月1回	6検体	6市町
野生きのこ類	16	確保の都度	確保数	16市町村
牛肉	1	確保の都度	確保数	18市町村
野生鳥獣肉	5	確保の都度	確保数	28市町村
小計	24	—	6検体	
市場に流通している食品				
生鮮又は加工品	35	週2回	35検体	—
計	59	—	41検体	

別紙

令和2年10～12月食品の放射性物質検査計画 詳細(新潟県)

区分	品目	産地 (製造地)	品目の詳細	対象品目	対象区域	検体数
農産物	きのこ類	新潟県	新潟県で生産された「原木しいたけ」「原木なめこ」を出荷前又は出荷初期に検査	原木しいたけ(露地・施設) 原木なめこ(露地)	新発田市、佐渡市、上越市、阿賀町、魚沼市、糸魚川市	市町村ごとに1検体
			新潟県で採取された野生きのこ	ヒラタケ、ハタケシメジ、ナラタケ、ワタゲナラタケ、キツブナラタケ、クロゲナラタケ、ムキタケ、クリタケ、ナメコ、マイタケ、マツタケ、ウラベニホテイシメジ、アマタケ、ヌメリイグチ、ハツタケ、シシタケ(直売所等で流通するもの、又は採取対象として人気のあるもの)	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町、出雲崎町、湯沢町、津南町、刈羽村、関川村、粟島浦村	産地市町村ごとに3又は1検体
畜産物	肉	新潟県	新潟県内で飼育・食肉処理された「牛肉(黒毛和種)」	牛肉	村上市、関川村、胎内市、新発田市、阿賀野市、阿賀町、新潟市、三条市、燕市、長岡市、小千谷市、南魚沼市、十日町市、津南町、柏崎市、上越市、糸魚川市、佐渡市	出荷農場毎に年1検体
野生鳥獣	野生鳥獣肉	新潟県	新潟県で捕獲された「野生鳥獣の肉」	ツキノワグマ イノシシ ニホンジカ ヤマドリ カルガモ	村上市、関川村、阿賀町、五泉市、阿賀野市、新潟市、新発田市、胎内市、聖籠町、田上町、加茂市、三条市、燕市、見附市、長岡市、小千谷市、出雲崎町、弥彦村、刈羽村、柏崎市、魚沼市、南魚沼市、十日町市、津南町、湯沢町、上越市、妙高市、糸魚川市	市町村ごとに1検体以上